



UNIVERSITY OF
CAMBRIDGE

AETO
Asian and Middle Eastern Studies Part IA

Monday 1 June 2015 9 to 12.00 pm

Paper J3

Modern Japanese texts 1

Answer *all* questions.

Write your number ***not*** your name on the cover sheet of ***each*** answer booklet.

STATIONERY REQUIREMENTS

20 page answer booklet

Rough Work Pad

SPECIAL REQUIREMENTS TO BE SUPPLIED FOR THIS EXAMINATION

None

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed to do so.

(1) Translate the following passage from a **seen** text into **English** and answer the accompanying questions:

(a) [12 marks]

激しいブレーキ音と共に、絶望的な悲鳴がミチコの耳に響いた。
車は、崖下へとゆっくりと転落していく。
ミチコは、その車に見覚えがあった。一人息子のノリオが乗っている軽自動車だ。
ミチコも何度も乗った事のある鮮やかな青い色の車。そして、自動車の原形を辛うじて残しているその車中には、ノリオの姿があった。頭から血を流し、ぐったりとしているその顔は真つ青だった。まるで死人のようだ。
ミチコは愛しい息子を何とか救おうと、必死に手を伸ばすが全く届かない。映像は目の前に見えるのに、ノリオには触れる事が出来ないのだ。まるでテレビ画面を見ているようだ。
(このままでは、ノリオが死んでしまう……！)
ミチコが焦りを感じた時、自動車が大きな音を立てて炎上した。燃えさかる炎の中、ノリオの姿はもう見えなかった。気が付くとミチコは、声にならない悲鳴を上げていた。

RUDORUFU, *Yochimu*, in Atōda Takashi (ed.), *Shōto shōto no hanataba 2* (2009), pp. 154-55.

(b) 転落していく Explain the meaning of ていく and give one example in Japanese with English translation. [4 marks]

(c) まるで死人のようだ Explain ようだ and give one example in Japanese with English translation. [4 marks]

(d) Explain the difference between 見える and 見られる. Give one example of each in Japanese with English translations. [4 marks]

(2) Translate the following passage from a **seen** text into **English** and answer the accompanying questions:

(a) [12 marks]

ミキは三つあるテーブル席の一つで注文を取っている。
スタイルは抜群だ。
水を持ってきてくれたときにチェックした眼鏡の奥の瞳は大きくて、^{まぶた}睫が長かった。マスクの盛り上がり方からして、鼻筋も通っていそうだ。頬や顎の輪郭からも総合的に考えると、めつたに出会えないくらい美人とちやうやろか……。
レジで支払いをするときに更によく見て、翔太は確信をもった。挨拶の声や、おじぎの仕方にも、何やらとてつもなく好ましいものを感じた。
眼鏡とマスクをとったミキは、どんなに美しいだろう。はつきり見えない分、余計に想像をかきたてられる。
翔太は、せつせと店に通うようになった。
いつ行ってもミキは眼鏡とマスクで顔を覆っている。無口なのか、店ではそんなふうにふるまっているのか、必要最低限のことしかしゃべらない。おっちゃんからの追加情報も、
「あいつ、東京で仕事してたんですけど、アレルギーのせいで続けられんようになりまして。ほんで、この店、手伝わしとるんです」
ということだけで、ミキについての詳しいことは、なかなかわからなかった。
そんなある日。
その店には珍しく、足もともおぼつかないほど酔っぱらった二人組が入ってきた。
奥のテーブル席に陣取って、注文をとりに行ったミキに難癖をつけている。

FUJITA KANAKO, *Okonomiyakiya no musume*, in Atōda Takashi (ed.), *Shōto shōto no hanataba* 1 (2009), pp. 224-25.

(b) 水を持ってきてくれたとき Explain the difference between てくれる and てあげる and give one example of each in Japanese with English translations. [4 marks]

(c) 鼻筋も通っていそうだ Explain the difference between 通っているそうだ and 通っていそうだ. [4 marks]

(d) 店に通うようになった Explain the difference between potential form + ようになる and non-potential form + ようになる and give one example of each in Japanese with English translations. [4 marks]

(TURN OVER)

(3) Translate the following passage from a seen text into English:

[12 marks]

このところ火事が多い。中には歴史的な価値のある重要文化財まで全焼してしまったケースもあるようだ。原因は様々で、寝タバコやストーブの消し忘れ、不審火や漏電などもあるらしい。景気が悪く、社会全体の暗さがこういったことにも反映しているのだろうか。

そしてここにも不景気で悩んでいる男がいた。

「どうすればいいんだ、この在庫の山は……」

男は自らが所有する倉庫を眺めながらつぶやいた。男は発明家だ。それほど有名ではないが、今まで色々な商品を開発し、商社に権利を売ったり時には自分で販売もしていた。そのやり方は軌道に乗っており、男も次々とアイデアが浮かんでいたため、安定した生活を送っていた。ところがこの不景気で個人消費が冷え込み、男の発

明品は返品が相次ぎ在庫の山となつてしまつたのだ。このままでは自己破産となつてしまうかもしれない。男は悩んだ。景気を良くする発明ができればいいのだが、そんな都合のいいものはさすがに思いつかなかつた。男はネタを探そうと町に繰り出したが、改めて暗い雰囲気を感じただけだつた。がつくりして戻つてくると夕刊が届いていた。新聞の一面も暗い話題ばかりである。倒産・汚職・不祥事・火事……。全ての記事が世の中の暗さを反映していた。だが男の目は鋭く一つの記事を注視していた。

「火事……、不審火……」

男はそうつぶやくと急いで自分の研究室に閉じこもつた。そしていつものように目を閉じ、頭の中で自分のアイデアを発明品へと変える作業へと入つた。その作業が終わると、今度はすごい勢いで装置を作り始めた。男は一度アイデアが固まると、作り上げるためにすばらしいスピードと集中力を発揮するのだ。食事と睡眠以外は発明品を作るためのみに時間を使い、配達物や新聞は郵便受けに溜まつていった。男は改良に改良を重ね、ようやく満足のいく物ができあがつた。

ODA RYŪJI, *Gisō kasai*, in Atōda Takashi (ed.), *Shōto shōto no hanataba* 4 (2009), pp. 146-47.

SECTION B

(4) Translate the following passage from an unseen text into English: [40 marks]

図書館で夕方まで時間をつぶすことにする。高松市の近辺にどんな図書館があるのか、あらかじめ調べておいた。小さいころから僕はいつも図書館の読書室で時間をつぶしていた。小さな子どもが家に戻りたくないと思ったとき、行ける場所がかぎられている。喫茶店にも入れないし映画館にも入れない。残された場所は図書館しかない。入場料はいらないし、子どもがひとりでも文句は言われない。椅子に座って好きなだけ本が読める。学校から帰ると僕は自転車で近所の区立図書館に行った。休みの日も多くの時間をそこでひとりで過ごした。物語や小説や伝記や歴史、そこにある本を手あたりしだいに読んだ。子ども向けの本をひととおり読んでしまうと、一般向けの書架に移って、大人のための本を読んだ。よく理解できない本でもとにかく最後のページまで読みとおした。本を読むのに疲れると、ヘッドフォンのあるブースに座って音楽を聴いた。音楽についての知識はまったくなかったから、そこにあるものを右から順番にひとつひとつ聴いていった。僕はそのようにしてデューク・エリントンやビートルズやレッド・ツェッペリンの音楽に巡りあった。

図書館は僕の第二の家のようなものだった。とかじつさいには、むしろ図書館のほうが僕にとってのほんとうの我が家のようなものだったかもしれない。毎日のようにそこにかよっているうちに、司書の女性たちとすっかり顔見知りになった。彼女たちは僕の名前を覚え、顔を合わせればあいさつをし、あたたかい言葉をかけてくれた（僕はひどい恥ずかしがり屋だったのでろくに返事もしなかったけれど）。

たかまつし
高松市 Takamatsu city
あらかじめ in advance
くりつ
区立 ward-operated
でんき
伝記 biography

ひととおり読む read through (completely)
とにかく at any rate
めぐ
巡りあう come across
ししょ
司書 librarian

(TURN OVER)

しょか
書架 book shelf

き
聴く

むしろ rather

わ
や
我が家 = 自分の家

ろくに hardly, barely

じゅんばん
順番に in order

は
恥ずかしがり屋 shy/bashful person

MURAKAMI HARUKI, *Umibe no Kafuka* (2002), pp. 68-69.

END OF PAPER